

こすもすの夢

165号

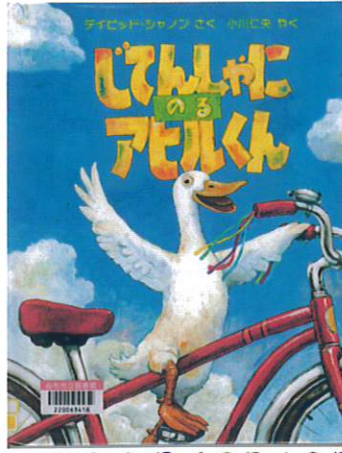
令和3年5月刊

この本
読んだ?
庄内図書館に
ありますよ。



「おんじやだのあひるくん」

マイミズ・ミヤノ／さく



ある日、自分で
ペダルをこいで
じてんしゃにのろうと
思いついたアヒルくん。
すいっつとじてんしゃで
楽しむアヒルくんをみて、
どうぶつたちが
思ったことは……。
ページをめくるたびに
おもしろくなります。



「そらののはらのまんなかで」

金子 みすず／童謡
松本 春野／絵
フレーベル館／発行



金子みすずさんの
10個の詩を
イラストと
いっしょに
楽しめるように
なっています。
親子で声にだして
よんでみると、
イラストにあわせて
その景色が頭の
なかにかんじ
ます。

「の」

Junaida / 著
福音館書店 / 発行



「わたしの」「お気に入りの」の「の」
ポケットの中のお城の」と、
ページをめくるとごんごん展開してゆき、
なんと最後は……。
不思議な魅力にあふれたストーリーと
美しい絵にも心を奪われる一冊です。



お母さんありがとう



「きりばあちゃんのともだち」

なかや みわ／さく
小学館／発行

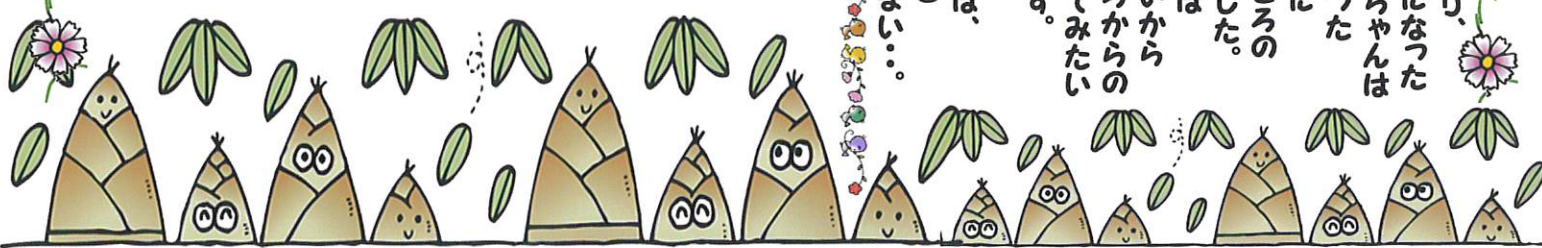


年をとり、
きりかぶになった
きりばあちゃんは
仲良くなつた
たんぼぼに
木だつたころの
話をしました。
たんぼぼは
一度でいいから
高いところからの
景色をみてみたい
と思います。
しかし、
たんぼぼは、
ぐつたりと
倒れてしまい……。
「おめでとうかいぎ」

浜田 桂子／作
理論社／発行



卒園し一年生になる ゆうき。
でも、一年生ってどんな感じだろう、
と心配になり、なかなか眠れません。
すると通園バッグが、ゆうきに話しかけ、
おめでとう会議に招待してくれました。



こすもすの夢

特別号
令和3年春の号
その1

この本
読んだ?
庄内図書館に
ありますよ。



『そらいろのたね』

なかがわ りえこ/文
おおむら ゆりこ/絵
福音館書店/発行



ある日、ゆうじはきつねから
そらいろのたねをもらいました。
そしてゆうじは家のにわに
そらいろのたねをうめ、水を
たくさんあげました。
すると、土の中から小さな
そらいろのいえが出てきて
ゆうたはびつくりします。
そらいろのいえはどんどん
大きくなって...

『さよならようちえん』

さこ ももみ/作
講談社/発行



こばと幼稚園の
たんぼぼくみに
通うななこちゃん
は年長さん。
どろだんごを作ったり、
お祭りでおどつたり、
雪で遊んだり、お友だちと
楽しく過ごす卒園までの
一年間を描いたお話です。

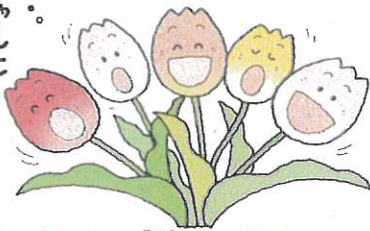
『いろいろおしたく』

えがしら みちこ/作
小学館/発行

いろいろおしたく



朝おきたら、
園にいくために
トイしや
おきがえが
あります。
まず、
はなちゃん
はなちゃん
はなちゃん
はじめるかな...
みんなもはなちゃん
と
いつしよに朝のおしたく
してみよう。



『たんぼぼ』

平山 和子/ぶんえ
北村 四郎/監修
福音館書店/発行



とつても身近なお花のたんぼぼ
ですが、どんなお花か
詳しく知っている人は
少ないかもしれません。
一つに見える
お花の部分は実は
小さな花が集まって
いることなど
驚く発見でいっぱいです。

『だいすさんちはだいかぞく』

まつくら くみこ/え
こくぶん まきえ/かんしゅう
少年写真新聞社/発行



今日のだいすの
おじいさんにとつて
大切な日なのですが、
なかなか
思い出せません。
おじいさんの家には、
ぞくぞくと
もやしにいさんや
妹のえだまめ、
さらにまごたちもきます。
親子でだいすから
どんな食品が
できるのかを学べます。



『ねんねんのはら』

あまんきみこ/ぶん
ほさか あやこ/え
福音館書店/発行

ねんねんのはらでは、
お母さんねずみが
小さいねずみに
子守りうたを
聞かせながら
いつしよに
過ごしています。
そばでは、
ほかの動物の
親子も
同じように
うたをきかれています。
ページをめくると
おだやかな
気持ちになります。

みんなのおやくそく

うがい、手あらい
わすれずに
コロナにまけず、
がんばろう!

みんな なかよく
あそぼうね。



こすもすの夢

特別号
令和3年春の号
その2

この本
読んだ?
庄内図書館に
ありますよ。



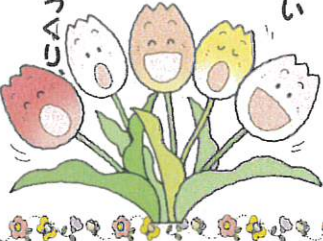
『はじめてのともだち』

栗山 ひろみ/作
石川 えりこ/絵
国土社/発行



ひとの「かんがえごと」を食べる
おばけだから
ひとにはみえない
はずなのに、
男の子から
「いっしょに
あそぼうよ」
と声を
かけられます。
ナンダツケはびつぐこ
男の子と
何をしてあそぼうかな...

ひとの「かんがえごと」を食べる
おばけだから
ひとにはみえない
はずなのに、
男の子から
「いっしょに
あそぼうよ」
と声を
かけられます。
ナンダツケはびつぐこ
男の子と
何をしてあそぼうかな...



『ルルとララの
いちごのデザート』

あんびる やすこ/作
岩崎書店/発行



大人気ルルとララシリーズから
今の時期にぴったりな一冊。
子ねずみのサニイの誕生日に
お菓子をやることになったルルと
ララ。ピンク色が大好きなサニイの
ために何を作ろうか考えます。

『コトノハ町は
きょうもヘンテコ』

昼田 弥子/作
早川 世詩男/絵
光村図書/出版



「道草をくつてる人」と
いうことがあります。
でもレンちゃんは
コトノハ町にある
川のそばにある
草を食べます。正しい
ことわざの意味との
ギャップがおもしろく、
ことわざを学ぶ
きっかけになる本です。

『パティシエ☆すばる』

つくも ようこ/作
講談社/発行



パティシエをめざし友だち二人と
スイーツ作りをする、すばる。
作ったスノーボールの感想が
ききたくなり、親の洋食屋の名前を
勝手に使いフリーマで試食として
配ってしまいます。
お菓子の評判はよかったです、
お母さんに知られてしまいました...

小学生のレンちゃんの
住む町は、ことわざが
ことばどおりになる
ふしぎな町。
例えば、よりみちを
している人を
「道草をくつてる人」と
いうことがあります。
でもレンちゃんは
コトノハ町にある
川のそばにある
草を食べます。正しい
ことわざの意味との
ギャップがおもしろく、
ことわざを学ぶ
きっかけになる本です。

『中くらいの幸せの味』

みとみ とみ/作
岡田 千晶/絵
国土者/発行



小学校5年生の盛太郎の家は、大幸軒
という中華料理屋。
父ちゃんが配達中の
ケガで入院したので、
お店は大ピンチ!
お店は大ピンチ!
でも手伝わない
盛太郎をみて、
おさななじみの
すずはイライラします。
お店に来るお客さんの数が
減っていることに気づいた盛太郎は、
どうしたらいいか本気で考える姿が印象に
残ります。

みんなの 目標

うがい、手あらい
わすれずに
コロナに負けずに
がんばろう!!

本を読もうよ、
もつともつと
本を読もうよ!!

